**「人間教育学研究」投稿・執筆要領**

平成16年3月15日編集委員会決定

改正　平成26年12月1日

最近改正　平成28年8月

令和3年4月

【投稿要領】

１．「人間教育学研究」は，日本人間教育学会が定期的に刊行する研究誌であり，人間教育学の構築と発展に資する学術論文等を掲載する。

２．原稿の著者は，原則として本学会の会員に限る。

３．掲載する学術論文等は，他の活字媒体や電子媒体に未公刊のものとする。

４．執筆者は，原稿の区分を明記して投稿する。但し，原稿内容から適当と認められる場合，研究誌『人間教育学研究』編集委員会（以下，委員会）の判断において掲載区分の変更を依頼することがある。

　　＜表　原稿区分の概要＞

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 和文文字数  [原稿用紙換算] | キーワード | 文献数 | 英文タイトル | 英文要旨 |
| 論文 | 50枚以内 | ５語以内 | 10～20程度 | 要 | 200語程度 |
| 総説 | 50枚以内 | ５語以内 | 50程度 | 要 | 200語程度 |
| 研究ノート | 30枚以内 | ５語以内 | 10～20程度 | 要 | 200語程度 |
| 実践報告 | 30枚以内 | ５語以内 | 10程度 | 要 | 200語程度 |

　　　＊文字数等については，委員会の判断により，その増減等が認められる場合がある。

なお，次のものは論文として扱う。

① 教育実践記録で，それが単なる事実の記録にとどまらず，実践の意図やねらい，実践内容の分析等を含み，内容あるいは研究方法において新規性・独創性のあるもの。

② 人間教育学に係わる教育内容・教育資料・教材開発あるいは過去の教育思想・教育制度・教育実践・教育内容を分析したもの。

５．投稿原稿の査読の際，委員会の中から担当編集委員１名を決定する。担当編集委員は査読者１名を選

定する。投稿原稿は著者の情報を伏せ，査読される。査読者による評価に基づき，担当編集委員の掲

載の採否の決定が行われる。なお，査読者の氏名は著者には公表されない。

６．投稿手続き

( 1 ) 投稿しようとする者は，執筆要領を厳守の上，所定の期日までに次の書類データを委員会指定のメールアドレスに提出するものとする。

1. 投稿申込書（Wordファイル）１部
2. 投稿前チェックリスト（Wordファイル）１部
3. 完成原稿（原本）　各１部（Word，PDFファイル）
4. 審査用原稿（著者名・所属機関，及び謝辞を除いたもの）　各１部（Word，PDFファイル）

なお，同一号に投稿する件数は，筆頭著者１人につき１編とする。共著の場合で，筆頭著者でなければ，この限りでない。

（２）提出された原稿について，本要領の諸事項に従ったものであるかどうか委員会が点検を行った結果，形式不備による原稿の修正・再提出の求めがあったときは，著者は直ちに形式を修正した原稿（WordおよびPDFファイル）を提出するものとする。

（３）委員会が原稿を受け付けた日をもって原稿の受付の日付とする。また，委員会がレフェリーによる論文審査をもとに掲載を認めた日付をもって，その論文の受理の日付とする。

（４）提出された原稿の原本は，掲載，不掲載を問わず返却しない。

７．著者による校正は，原則として初校のみとし，誤植の修正に限る。校正の際の書き加え，書き改めは原則として認めない。なお，図を修正しなければならないときは，原図を著者の責任において修正し，委員会に送付する。

８．著作権等

（１）原稿の内容は著者が責任を負うものとし，委員会の意見により修正を行った場合も同様とする。

（２）原稿内で使用する写真や図，表などの著作権・肖像権などの確認は，著者が全責任を負うものとする。また，それらのものについて委員会から問い合わせがあった際には，速やかに確認書類を提出し，確認できないものについては掲載を見送るものとする。

（３）原稿の著作権は『人間教育学研究』に属するものとする。

９．掲載された論文は、各学術機関のリポジトリ等において公開する場合、委員会に掲出届けを出すものとする。

１０．掲載原稿の抜刷に関する経費は著者の実費負担とする。

【執筆要領】

1．投稿原稿は，和文又は英文によるものとし，パソコンを用いて作成したものとする。

また， 原稿の作成に当たっては， 原稿フォーマットを必ず参照するものとする。

２．原稿枚数等及び論文の体裁は次によるものとする。

（１）和文・英文論文共通事項

・用紙は，A4判縦置き，横書きとする。ただし，和文論文で表記上特に必要な場合は,縦書き（この場合もA4判縦置き）とすることができる。

・原稿枚数（図版，注，文献等含む）は， 1 ページ当たりの文字数・段組・書体ポイント数に従った上で，原則として12 ページ以内とし，ページ下中央部にページ番号を印字する。

・表題中に（1）（その1）等の続報論文を想定する旨の表記は行わない。

・原稿第１ページの表題下に，著者の所属を和文と英文で書く。この場合，大学教員は大学名，大学院生（研究生を含む）は研究科名，学校教諭等は学校名等を書く。大学の非常勤の勤務先を所属機関として掲載する際は，当該期間の承諾を得る。

【記載例】

大学院生の場合　→ 〇〇大学大学院△△研究科

(graduate school of △△，〇〇University)

大学教員の場合 　→ ○○大学　(○○University)

・論文中（注，文献を含む）に著者本人の著による文献等を表記する際, 著者名は，「筆者」「拙稿」等とせず, 著者本人の名で表記する。

・英文要旨は200語程度，キーワードは3語以上 5 語以内とする。

（２）和文論文

・本文，注，文献のページは43文字×41行 (1頁分に相当、明朝体10.5ポイント)の横１段組とし，上下左右の余白はそれぞれ30mm, 25mm, 25 mm, 25mm程度とする。

・注については，原則として文末脚注とする。

・書体は，見出しはMSゴシック体10.5ポイント，本文はMS明朝体10.5ポイントを標準とする。タイトルはMS明朝体18ポイント,サブタイトルはMS明朝体14ポイント，氏名はMS明朝体12ポイント，所属MS明朝体10.5ポイントとする。英文要旨およびキーワードはcentury 10ポイントとする。また，注，引用・参考文献は，見出しはゴシック体10.5ポイント，本文はMS明朝体10ポイントとする。

・原稿第 l頁に和文表題，英文表題，和文著者名, 和文所属,英文著者名, 英文所属, 英文要旨，英文キーワードを書き，キーワード の次行から本文，注及び文献の順で書く。

・英文要旨については，英語を母語とする者の校閲を経る。

・本文は，書き出し及び改行後の書き出し部分を１コマ空け，読点は「,」とし，句点は「。」とする。(縦書きの場合は，読点は「，」とする。)

・2桁以上の数字は半角文字，アルファベットは半角を基本とするが，略号等は全角も可とする。

・カタカナは全角とする。

（３）英文論文

・本文，注，文献のページは，行数41 行程度の １段組とし，上下左右の余白はそれぞれ30mm, 25mm, 25 mm, 25mm程度とする。

・書体は，本文はcentury11ポイントを標準とする。タイトル・サブタイトルはcentury14ポイント，所属・作者はcentury 10.5ポイント，キーワードのタイトルはゴシック体9ポイント,キーワード・要旨本文はcentury 10.5ポイントとする。見出しはゴシック10.5ポイント（太字にしない）とし，注，引用・参考文献はcentury 10ポイントとする。

・原稿第１ページに英文表題，英文著者名，和文表題，和文著者名(著者が外国人の場合は英文のまま表記)，英文要旨，英文キーワードを書き，キーワードの次行から本文，注及び文献の順で書く。

・論文は，英語を母語とする者(論文中の専門用語を理解し得る者であることが望ましい)の校閲を経る。

３．注及び文献は，原則としてレイアウト例を参照し、論文末尾にそれぞれ別にまとめる。

　　①注記は，補足説明とし，本文中の該当箇所に，注１，注２…の肩番号をつけ，論文末尾に番号順に

記載する。

②文献は，本文中で引用・参照されている文献のみとし，本文中の引用・参照箇所に，１），２）

…の上付右括弧付き数字で肩番号をつけ，下記の記載例により，論文末尾に番号順に記載する。

なお，欧文（ローマ字）誌・書名は，イタリックとする。また，著者が複数の場合は，その全員を

記載する。その際，著者名と著者名の間は，カンマ［，］でつなぐ。

【雑誌論文の場合の記載例】

４）鈴木一郎（2000）「総合学習における教育実践学的存在論」『総合学習』11（４），38-39．

７）James，M.（2004） Japanese Education，*Journal of Education*，16（20），58-59.

【書籍の場合の記載例】

３）田中太郎（1998）『図で読むスクールカウンセリング』ミノルタ書房，53-68．

６）Chales，A Singlehood，（1987）In Macklin， E. & Rubin， S.（ eds.）， *Families in postmodern*

*society*，Oxford:Oxford University Press，34-35．

４．図，表，写真図版等は，本文中の該当箇所の刷り上がりをイメージした位置に，鮮明に識別できる大

きさで，以下の様式により挿入する。

・図(写真図版を含む)は，図 1 （Fig. 1 )，図 2 (Fig.2)，…，のように，表は，表 1 (Table1)，表 2 (Table2) ，…のように通し番号をつける。

・図の番号及び見出しは，図の下に記入し，表の番号及び見出しは，表の上に記入する。

・図, 表，写真図版等の出典は，オリジナルの場合を除き，論文末尾に通し番号順にまとめ，文献の記載例を参考に明記する。

【記載例】 ※出典が著書の場合

図 4 平山礼二『日本画の世界』求龍書店. p.48. 1986

・写真図版を含め原稿は白黒印刷とする。

・図，表，写真図版の大きさは，刷り上がり 1 ページ以下を原則とする。

・図，表中の文字の大きさは，レイアウト原稿中で最小9 ポイントとする。